

CoReが2025シンポジウム開催 “人の力”をテーマに講演や座談会実施

一般社団法人日本化粧品専門店協会(CoRe:コア)は11月18日、東京・有楽町の東京交通会館で2025CoReシンポジウムを開催し、専門店やメーカー関係者約100名が参加した。

CoReは2023年、次世代に向けた専門店業界の発展を目的に田代正樹理事長(たしろ しょう)を中心とした9名の専門店経営者が創設メンバーとなって発足。今年の会員企業は新たに4名が加わって



22名(社)となり、メーカー各社との協働取り組みや会員同士の連携も活性化している。

3回目を迎えた今年のシンポジウムは、資生堂の魚谷雅彦(うろや)シニアアドバイザーが「企業価値を上げるリーダーシップのあり方」のテーマで講演し、強い人・組織をつくるためのリーダーとしての思考や姿勢について語った。CoRe会員の専門店経営者4氏による座談会では、「化粧品専門店価値創造のための経営者の資質とは」をテーマに意見交換が行なわれた。

田代理事長は冒頭のあいさつで、「我が国初の女性総理が誕生し、これでようやく日本は男女労働参画社会のスター



田代理事長



魚谷氏

トラインにといったと感じている。女性に近い業種として大いに期待をしているところである。各省庁の具体的な取り組みでは、付加価値を高める労働への転換、リスキリングやデジタル技術の活用を後押しして、より少ない労働時間でより多くの賃金を得ることができる稼げる日本への変革を進めると述べられており、働き方改革による労働生産性の向上を図るという方向が示された。(これは)まさに私たちにとっても最重要課題の一つである。活力ある人や組織が魅力あふれる専門店づくりにつながると考えている」と、社会情勢を踏まえて専門店経営における人材の重要性を強調。

「本年度のシンポジウムのテーマは“人の力で価値を高め

る化粧品専門店づくり」とした。経営者を含め、リーダーの資質は組織の活性化に大きな影響を及ぼす。環境の変化や価値の多様化といった激しく変化を続ける社会のなかで、組織を力強く動かすリーダーとはどうあるべきか。また、イノベーションは人の力の融合や結合から生まれるといっても過言ではない。私たち化粧品専門店経営者は、どう変革を起こし、人の力を生かしながら成長へとつなげていくのか。チームワークと多様性の源泉は人の力。人の力でイノベーションを起こし、次世代の魅力ある化粧品専門店を作り上げなければならない。CoReは真の化粧品専門店づくりのために、ステークホルダーと密接に連携を取りながら、消費者はもちろん、化粧品専門店業界と地域社会の利益向上のために様々な活動を展開していく」と述べた。

続いて坂原泰弘理事(りば)がCoReの活動報告を行ない、花王との協働企画

について紹介。CoReでは各メーカーとの協働取り組みを推進しており、今期は「リサージメン」の販促企画を実施。昨年のコマーシャルとの取り組みに続き、男性顧客獲得に向けて企画参加店に売り場づくりツールやサンプル、ギフトラッピングツールなどの提供を通じて店頭活動をサポートし、売上や新規獲得率で想定を上回る成果を得ている。またSDGsの取り組みとして花王酒田工場の見学を行ない、返品の焼却・再資源化の現場視察を通じて持続可能な社会に貢献する姿勢を共有した。

座談会では、国際商業出版の長谷川隆編集長をファシリテーターに迎え、CoRe会員の藤川正英理事(フジカワ)、大郷徳子氏(ダイゴウ)、寺西美穂氏(Merchant)、山田直史氏(甲州屋山田商店)が、自社の経営課題や競合との差別化を図るための取り組みを紹介した。多くのエリアで人口減少が進むなかで「選ばれのお店」になるため、特に接客の質を担保する人材育成については課題認識が強く、採用や組織運営のポイントが語られた他、地域コミュニティとの連携による需要の活性化や、SNSを活かした専門店ならではの情報発信の重要性を語る経営者も。また今後に向けて、会員企業のレジ共通化やデータ活用など、CoReの組織網を生かした連携策等のアイデアも提起された。

SHIRORU

洗顔料国内売上No.1獲得のブランドから 初のベースメイクシリーズを発売

スキンケアブランド「SHIRORU(シロル)」を展開するSHIRORU(株)は来年

2月22日、ブランド初のベースメイクシリーズ(4品)を発売する。これに先立ち11月